

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【公開番号】特開2013-5248(P2013-5248A)

【公開日】平成25年1月7日(2013.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-001

【出願番号】特願2011-134825(P2011-134825)

【国際特許分類】

H 04 W 48/02 (2009.01)

H 04 W 16/32 (2009.01)

H 04 W 24/10 (2009.01)

H 04 W 92/22 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 3 8 1

H 04 Q 7/00 2 3 8

H 04 Q 7/00 2 4 5

H 04 Q 7/00 6 9 4

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月26日(2014.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

集中制御局装置によって通信を制御される制御局装置であって、

前記制御局装置が制御するカバー領域に対して干渉源となる制御局装置に関する情報を取得し、

前記干渉源となる制御局装置に関する情報を前記集中制御局装置へ通知し、

前記制御局装置の通信の可否に関する情報を前記集中制御局装置から取得することを特徴とする制御局装置。

【請求項2】

前記干渉源となる制御局装置に関する情報は、干渉源となる制御局装置の数又は干渉源となる制御局装置をそれぞれ特定する情報を特徴とする請求項1に記載の制御局装置。

【請求項3】

自身の通信相手先となる端末装置の受信能力に関する情報を取得し、前記干渉源となる制御局装置に関する情報と前記受信能力に関する情報を前記集中制御局装置へ通知することを特徴とする請求項2に記載の制御局装置。

【請求項4】

制御局装置の通信を制御する集中制御局装置であって、

前記制御局装置が制御するカバー領域に対して干渉源となる制御局装置に関する情報を前記制御局装置から取得し、

前記取得した情報と、集中制御局装置及び制御局装置の通信相手先となる端末装置の受信アンテナ数と、各セルにおけるストリーム数とに基づいて、前記集中制御局装置及び前記制御局装置が制御するカバー領域各々における通信の可否を決定することを特徴とする集中制御局装置。

【請求項 5】

前記制御局装置の通信相手先となる端末装置の受信能力に関する情報と、集中制御局装置の通信相手先となる端末装置の受信能力に関する情報とを取得し、

前記取得した情報を基に、前記制御局装置が制御するセルにおけるストリーム数を決定し、それらの情報を前記制御局装置へ通知することを特徴とする請求項4に記載の集中制御局装置。

【請求項 6】

集中制御局装置によって通信を制御される制御局装置に接続する端末装置であって、

前記端末装置にとって干渉源となる制御局装置に関する情報と、端末装置自身の受信能力に関する情報を、前記制御局装置を経由して前記集中制御局装置へ通知することを特徴とする端末装置。

【請求項 7】

集中制御局装置が通信を制御する第1のカバー領域と、複数の制御局装置がそれぞれ通信を制御する複数の第2のカバー領域とから構成される通信システムにおいて、

前記制御局装置は、

それぞれ制御する第2のカバー領域に対して干渉源となる他の制御局装置に関する情報を取得して前記集中制御局装置へ通知し、

前記集中制御局装置は、

前記制御局装置から取得した情報と、集中制御局装置及び/又は制御局装置の通信相手先となる端末装置の受信アンテナ数と、各セルにおけるストリーム数とに基づいて、前記第1及び第2のカバー領域各々における通信の可否を決定することを特徴とする通信システム。

【請求項 8】

集中制御局装置が通信を制御する第1のカバー領域と、複数の制御局装置がそれぞれ通信を制御する複数の第2のカバー領域とから構成される通信システムにおける通信方法であって、

前記制御局装置は、それぞれ制御する第2のカバー領域に対して干渉源となる他の制御局装置に関する情報を取得して前記集中制御局装置へ通知し、

前記集中制御局装置は、前記制御局装置から取得した情報と、集中制御局装置及び制御局装置の通信相手先となる端末装置の受信アンテナ数と、各セルにおけるストリーム数とに基づいて、前記第1及び第2のカバー領域各々における通信の可否を決定することを特徴とする通信方法。